

一般社団法人

日本精神保健看護学会

Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing

# News letter

第84号 | 平成31年  
1月15日

(一社)日本精神保健看護学会事務局：〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター  
TEL:03-5389-6254 FAX:03-3368-2822 E-mail:japmhn-post@bunken.co.jp HP:http://www.japmhn.jp

## ご挨拶

日本精神保健看護学会 第29回学術集会・総会  
学術集会会長 香月 富士日  
(名古屋市立大学看護学部)

日本精神保健看護学会第29回学術集会・総会は、今年6月に名古屋の地で開催させて頂くことになりました。今年是新元号開始の年であり、新しい出発を象徴した年になると思います。私たちが今まで積み上げてきた実践やエビデンスをみんなで今一度点検し、今後の方向性が見えるような大会となればと考えております。

大会テーマは、「当事者・家族・支援者を結ぶ精神保健看護の理論と実践～私たちは声をきけているか?～」といたしました。私たちは普段たくさんの時間、患者さんのお話を聞いていますが、それは患者さんの本当に話したいことを聞いているのだろうか、と考えます。私たちの聞きたいこと、私たちの知りたい情報、私たちの仕事に役立つことが中心となってしまうことが多いのではないかと反省します。そこであらためて、患者さんの声、ご家族の声をきくということをこの大会をきっかけに意識できればと考えています。

また同時に、患者さんの本当の思いに沿ったケア、ご家族の苦悩を理解した上でのケアはどのようなものか、それを実践した時には具体的にどのような効果があるのかを考察することも重要です。実践をして効果を検証し、修正して実践する。小さいことでもこの繰り返しを行い、エビデンスを積み上げることも私たちの大切な仕事です。当事者の主観と科学的エビデンスの両方に支えられることでよりよい看護が実現するのだと考えます。

今大会では、これらのテーマが深まるような特別講演、教育講演、シンポジウムをご準備させて頂いております。また、一般演題、ワークショップを含め、大会を通して議論が深まることを大変楽しみにしております。

会場は、名古屋駅前の大変便利なところをご用意させて頂きました。名古屋駅直結ですので、雨でもぬれずにお越しいただけます。多くの方のご参加とご発表をお待ち申し上げます。

名古屋でみなさまにお会いできますことをスタッフ一同よりお待ちしております。

## 日本精神保健看護学会第29回学術集会・総会のご案内

学術集会テーマ：「当事者・家族・支援者を結ぶ精神保健看護の理論と実践

～私たちは声をきけているか？～

学術集会会長：香月 富士日（名古屋市立大学看護学部 教授）

日 時：2019年6月8日（土）・9日（日）

場 所：愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」（名古屋駅前）

### \*\*\*プログラム\*\*\*

#### 【6月8日（土）】

- ・会長講演 「家族ケアの実践とエビデンス」  
香月富士日（名古屋市立大学看護学部 教授）
- ・特別講演 「精神疾患をもつ人を支える包括的ケア」  
大島 巖（日本社会事業大学 教授／地域精神保健福祉機構 COMHBO 代表理事）
- ・教育講演 「WRAPの日本への導入と普及～ピアの力を信じて～」  
坂本 明子（久留米大学文学部 准教授）
- ・教育講演 「オープンダイアローグの臨床現場での活用」  
下平美智代（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所  
地域・司法精神医療研究部 所沢市アウトリーチ支援チーム 統括責任者）
- ・総会
- ・イブニングセミナー 「映画上映：夜明け前～呉秀三と無名の精神障害者の100年」
- ・リカバリートーク
- ・一般演題発表
- ・ワークショップ

#### 【6月19日（日）】

- ・シンポジウム 「リカバリーを目指す支援～家族ケアの重要性～」(仮)  
シンポジスト：木村 尚美（ひだクリニック 看護師）  
ご家族  
 淵野 真広（愛知県精神医療センター 医師）  
 加藤 明美（愛知県心身障害者コロニー中央病院 家族看護 CNS）
- ・教育講演 「身体疾患をもつ方の不安抑うつのケアと精神疾患をもつ方ががんになったときのケア」  
明智 龍男（名古屋市立大学大学院医学研究科 教授）
- ・市民公開講座 「マインドフルネスと臨床瞑想法」  
大下 大圓（飛騨千光寺 住職／日本スピリチュアルケア学会 理事）
- ・ランチョンセミナー 「統合失調症を持つ人のリカバリーを支えるアプローチ～心理教育やLAIの役割～」  
講師：内野 俊郎（久留米大学医学部）  
協賛：大塚製薬株式会社

- ・理事会企画
- ・リカバリートーク
- ・一般演題発表
- ・ワークショップ

## \*\*\*会場へのアクセス\*\*\*

- ◎開催場所地図：愛知県産業労働センター「ウインクあいち」  
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

### 〈電車をご利用の場合〉

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄) 名古屋駅前

JR(東海道新幹線)をご利用の場合

- ◎東京・・・約97分
- ◎新大阪・・・約51分

### 〈お車をご利用の場合〉

名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分  
駐車場・・・収容台数123台

### 〈飛行機をご利用の場合〉

中部国際空港(セントレア)・・・約28分  
(名鉄空港特急利用)



(詳細な地図は、学術集会HPに公開しております)

- \*名古屋駅発各駅への所要時間は、乗り換え・待ち時間を含みません。  
また、時間帯により多少異なります。

## \*\*\*一般演題およびワークショップの募集\*\*\*

### 1. 演題募集について

一般演題は、講演あるいはポスター発表となります。演題募集は、オンライン登録のみ受け付けます。郵送による応募は受け付けませんのでご注意ください。必ずご本人に連絡ができる電子メールアドレスが必要になります。

- 募集期間：2018年11月1日(木)～2019年1月25日(金)
- 応募資格：発表者・共同研究者は全て演題登録時に本学会会員であることが必要です。

\*学術集会では、一般演題の査読を行います。査読については学術集会ホームページをご確認ください。

### 2. ワークショップの企画募集について

ワークショップは、参加者間の相互作用を通じて新しい創造と学習を生み出すために、本学会設立当初から学術集会において開催されてきました。開催担当者と参加者との間で生じる双方向的な学びと創造のスタイルで、70分または90分の時間枠で実施していただく企画です。昨年同様15枠程度の応募を予定しています。ワークショップの企画は、オンライン登録のみ受け付けます。郵送による応募は受け付けませんのでご注意ください。

- 募集期間：2018年11月1日(木)～2019年1月25日(金)
- 応募資格：ワークショップ企画代表者および担当者は企画登録時に本学会会員であることが必要です。

\*選定の要件に関しましては学術集会ホームページをご確認ください。

## ※※ 学術集会参加申し込み ※※

第29回学術集会への参加を希望される方は、学術集会ホームページ「事前参加登録」ページにて参加登録を済ませられたうえで、参加費のお支払いをお願いいたします。

### 【事前参加登録の受付および入金期間】

2018年11月1日（木）～2019年5月10日（金）正午まで

### 【学会参加費】

・ 事前受付	会 員	8,000円	非会員	10,000円
・ 当日受付	会 員	10,000円	非会員	12,000円
	学 生（大学院生を除く）	3,000円（当日受付のみ）		
	当事者・家族	1,000円（当日受付のみ）		

\*2019年5月10日（金）正午までにお支払いがない場合は、事前参加登録はキャンセルとさせていただきますのでご注意ください。参加される場合は、当日受付にて当日料金をお支払いいただきます。

### ■学術集会へのお問い合わせ窓口■

株式会社ユピア 〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21  
E-mail : japmhn29@yupia.net FAX : 052-882-9612

## 教育活動委員会報告

教育活動委員長 大川 貴子  
(福島県立医科大学)

### ●●●● 2018年度教育活動委員会主催研修会のお知らせ ●●●●

教育活動委員会では、以下の研修会を予定しています。申し込み方法や内容の詳細は学会公式ホームページをご覧ください。

テーマ：オープンダイアログとリフレクティング ～日本での展開の可能性を探る～

日 時：2019年3月21日（木・祝日） 10：00～16：00

場 所：TKP 仙台南町通カンファレンスセンター 8階 ホール8A

講 師：矢原 隆行 先生（熊本大学大学院社会文化科学研究科 教授）  
三澤 文紀 先生（福島県立医科大学看護学部総合科学部門 教授）  
末安 民生 先生（岩手医科大学看護学部地域包括ケア講座 教授）  
西池絵衣子 先生（慶応義塾大学看護医療学部 助教）

学会員は無料、非学会員は2,000円頂きます。会場の都合で、先着100名とさせていただきますので、学会ホームページをご確認の上、お早めにお申し込み下さい。

このほか、「精神障害者の就労支援における看護の役割」をテーマにした研修会を、当事者の方、就労支援のトレーナーの方、看護師、精神保健福祉士等にご登壇頂き、2019年3月16日（土）に名古屋（パナマウント名古屋支店6階604号室）にて開催する予定です。詳しくは、学会ホームページをご確認下さい。皆さまのご参加をお待ちしております。

## 若手研究助成事業について……

日本精神保健看護学会では、若手研究者の育成を目的として、研究助成事業を実施しています。2019年度の助成は、応募期間が2019年1月18日（金）までとなっています。その後、応募された書類をもとに審査を行い、審査結果を4月以降に公開し、学会総会においてご紹介する予定です。

## 広報委員会報告

広報委員長 安保 寛 明  
(山形県立保健医療大学)

今年度は、ニュースレターの発行形式を試行していて、前号（第83号）を電子配布、今号（第84号）は印刷体での配布を行っています。また、教育活動委員会と連動して学術集会の開催地での研修会を共催しました。これらについて報告します。

ニュースレターの電子配布によって、印刷と郵送に関する費用が少なくなり、発行までの時間が1週間程度短縮されました。一方で、学会から配信している電子メールを受信していない人も会員の15-20%いるため、その方々には前回のニュースレターは届かなかったこととなります。本学会のニュースレターのあり方について一定のまとめを行う予定です。

10月8日に愛知県立精神医療センターで行われた共催での研修会では、イタリアボローニャ市長代理、愛知県立精神医療センター院長、本学会永井理事長が列席のなか、ボローニャ地域精神保健局長のフィオレッティ氏による講演と精神障がいをもつ当事者の劇団によるパフォーマンスが行われました。医療福祉関係者、地元住民、本学会会員など約270名の来場があり、当事者劇団のパフォーマンスには万雷の拍手が沸き起こりました。来場者へのアンケートから、他団体と共催する形式で行われたことへの好感度はおおむね良好でした。次年度以降の資料としていく予定です。

## 平成31年度役員選挙について

定款第29条に基づき、平成31年度に第4期役員選挙を行います。先日行われました第4回理事会で選挙管理委員が決定いたしました。役員を選任は、定款第26条により、代議員の決議によって代議員の中から選任することとなります。選挙告示にて選挙日程などをお知らせする予定にしております。ご多用中とは存じますが、選挙へのご協力をお願い申し上げます。

## 理事会報告

総務委員長 萩野 雅  
(武蔵野大学)

9月に第3回理事会が、11月に第4回理事会が開催されました。

教育活動委員会から今期の研修会の企画についての提案がありました。今期は西日本で2回、東日本で2回の研修会を予定しています。詳細なご案内は期日が近づきましたら、会員の皆様へお知らせいたします。

広報活動委員会からは、HPの更新についての提案がありました。HPで会員の皆様へさらにわかりやすく情報を提供していきたいと思います。また、会員への情報提供サービスのあり方についても理事会で審議いたしました。現在、公共性の高い研修会や講演会などを会員の方々へ情報提供していますが、さらなる会員へのサービスの向上を目指していきたいと思います。

編集委員会からは学会誌27号2巻進捗状況についての報告が、学術連携委員会からは、委員が参加した精神保健従事者団体懇談会や平成30年度看護系学会等社会保険連合臨時社員総会など他団体との連携についての報告がありました。

また、第29回学術集進捗状況について、大会長の香月富士日先生から報告がありました。11月1日より一般演題・ワークショップの事前登録が始まっております。詳しくは第29回学術集のHPをご覧ください。

現在、理事会では次年度の理事会活動及び委員会の編成について、本学会の目的である「精神保健看護学の発展を図り、広く知識の交流に努め、もっと人々の精神の健康と福祉に貢献すること」を果たすためには、さらにどのようなべきかの検討を行っています。引き続き理事会にて検討を進めていきたいと思っております。

### ニュースレター原稿募集

学会では、学会員の主催する精神看護関連の活動を支援し、また、より広く交流を図れるよう、ニュースレターに掲載する原稿を広く募集しております。

皆様が主催される様々な精神看護関連の活動について、ニュースレターでの広報をご希望の際には、その活動内容、主催者（お名前とご所属）、開催場所・日時、参加方法、連絡先に関する原稿をお寄せください。

また、現在の精神保健医療や看護に関するご意見や問題提起、あるいは学会員の方々で共有したい情報などもお寄せいただければ幸いです。広報委員会で検討させていただき、ニュースレターに掲載したいと考えています。皆様からのお原稿をお待ちしております。

*News  
letter*

編集後記

▼この第84号を読む頃には、新たな時代についてゆっくり思いをめぐらせていきたいです。ニュースレターは新たに電子配布が開始となりましたが、今回は紙面での配布です。今後とも、よろしくお願いいたします。(牧野)

▼平成最後のニュースレターをお届けします。平成最後のお正月、みなさまどのように過ごされたか。近代以降、唯一戦争のない時代であった平成。どうか次の時代も平和で安寧なものになることを祈念しております。(甘佐)

広報委員会 広報委員長：安保寛明（山形県立保健医療大学）

広報委員：甘佐京子、牧野耕次（以上滋賀県立大学）、小山達也（東京女子医科大学）、

松枝美智子（福岡県立大学）、佐藤大輔、高谷 新（以上山形さくら町病院）

（お問い合わせ先）メールアドレス：hambo@yachts.ac.jp TEL：023-686-6735